2026年11月5日

各 位

会 社 名　株式会社秀英予備校
代表者名　代表取締役社長　渡辺　武
（コード：4678　東証スタンダード市場）
問合せ先　取締役経理部長　紅林　信宏
（TEL. 054－252－1792）

2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社グループは、最近の業績動向を踏まえ、2026 年５月８日に公表いたしました2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想値と本日公表しました「2027年３月期第２四半期（中間期）決算短信[日本基準]（連結）」の第２四半期（中間期）連結業績実績値について、下記のとおり差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

１．2027年３月期第２四半期(中間期)連結業績予想値と実績値との差異（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	4,980	△400	△395	△420	△62.59
実績値（Ｂ）	4,999	△202	△199	△285	△42.59
増減額（Ｂ－Ａ）	19	197	195	134	
増減率（％）	0.4	―	―	―	
（ご参考）前期第２四半期(中間期)実績（2026 年３月期第２四半期(中間期)）	4,887	△241	△240	△396	△59.02

２．差異が生じた理由

当社グループでは、2023年から開催した「全国公開実力テスト」等を通して将来の安定的な収益を確保すべく小学生低学年の“囲い込み”に注力しております。2027年３月期におきましても、同様の活動を継続した結果、生徒数及び売上高は概ね計画通りに推移しております。

営業費用におきましては、校舎の照明のＬＥＤ化の進展により水道光熱費が削減されたこと、上期に予定していた校舎設備の保守・修繕費用等が、発注方法の見直しを要因として下期（一部翌期）にずれ込んだことにより予想と比較して減少しております。

特別損失におきましては、10月27日に公表した『特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ』に記載のとおり、校舎の適正配置を図るため、神奈川県の１校舎を閉鎖する意思決定を行ったことにより45百万円の特別損失を計上するところであります。

この結果、売上高は19百万円の増加、営業損失は197百万円、経常損失は195百万円の改善、親会社株主に帰属する中間純損失は134百万円の改善となりました。

以上